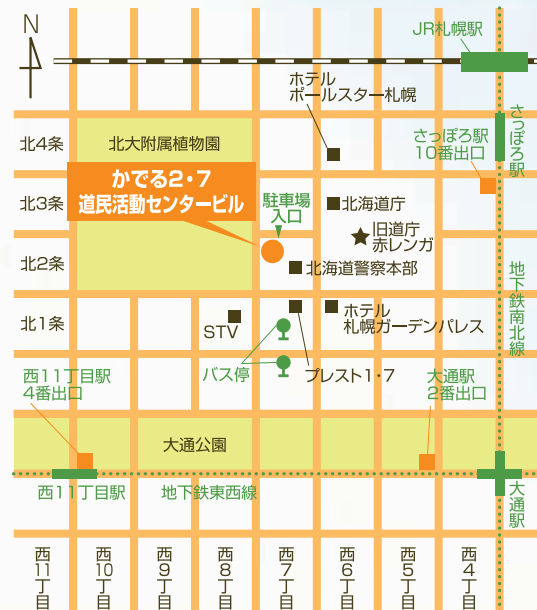


会場アクセス

札幌市中央区北2条西7丁目
TEL:011-204-5100
<http://homepage.kaderu27.or.jp/>

- JR札幌駅 徒歩12分
- 地下鉄さっぽろ駅(10番出口) 徒歩7分
大通駅(2番出口) 徒歩9分
西11丁目駅(4番出口) 徒歩10分
- JRバス/中央バス 北1条西7丁目停留所 徒歩3分

● 自家用車
会場の地下に有料駐車場がありますが、台数に限りがあります。満車の場合は近隣の有料駐車場をご利用いただけます。なるべく公共交通機関でお越しください。



参加申込方法

下記の申込内容を社会福祉法人栄和会まで、FAX、Eメール、郵送にてお知らせください。ウェブサイトからも申し込みいただけます。なお、Eメールでお申し込みの際は、件名に必ず「ケアする人のケアセミナー申込」と明記してください。お申し込みいただいた方には、後日、折り返し受講票をお送りします。

● お問い合わせ・お申し込み先
社会福祉法人 栄和会
〒004-0063 札幌市厚別区厚別町山本750-6
TEL:011-896-5010 FAX:011-896-2566
Eメール: eiwasou@eiwakai.or.jp
<http://popo.or.jp> (たんぽぽの家)

ケアする人のケア セミナー 参加申込フォーム FAX 011-896-2566

ふりがな				
お名前				
所 属 ※よろしければ、活動先・活動内容などをお書きください。特になければ記入不要です。				
ご連絡先	ご住所 (□ご自宅/□勤務先等) ※2月上旬より順次受講票をお送りします。			
	TEL (□ご自宅/□勤務先等)	FAX (□ご自宅/□勤務先等)		
	Eメール (□ご自宅/□勤務先等)			
選択プログラムのご希望	第1希望	<input type="checkbox"/> ①映画 <input type="checkbox"/> ④体験	<input type="checkbox"/> ②セッション <input type="checkbox"/> ⑤体験	弁当注文 <input type="checkbox"/> 注文する(600円) <input type="checkbox"/> 不 要
	第2希望	<input type="checkbox"/> ①映画 <input type="checkbox"/> ④体験	<input type="checkbox"/> ②セッション <input type="checkbox"/> ⑤体験	

ご記入いただいた個人情報は、本セミナーの受付事務のみにおいて利用させていただきます。

ケアする人のケアセミナー

元気の出るケア 希望のあるケア

日時 2011年 2月21日(月)
10:20~15:00

会場 北海道立道民活動センターかでの2・7
かでのホール ほか

要
申し込み

参加
無料

一人ひとりの人生に寄り添う支援をしたい。そこから生きる希望を見出したい。ケアを必要とする人を前にして、そう思えることは人間らしくあることの証です。それはまた、人が人として世話をすることの原点です。ケアする人もまた、傷つきやすく弱い存在だからこそ、他者の痛みや哀しみに共感するのでしょうか。

このセミナーは、ケアに携わる人たちの癒しと回復のプロセスを、地域で、社会全体で、どのように支えてゆけるかについて考える機会にしたいと思います。「私は私のありのままよい」と思えるセルフケア。それを支える、互いに生かされて生きる関係性のケア。それらを豊かにするヒントは、皆さんの経験知の中にこそあると思います。ご参加をお待ちしています。

主 催 財団法人住友生命社会福祉事業団、財団法人たんぽぽの家

実施主体 ケアする人のケア札幌セミナー実行委員会

(社会福祉法人栄和会、社会福祉法人幸清会、特定非営利活動法人社会福祉振興会、日本認知症ケア学会北海道地域部会、認知症フレンドシップクラブ、特定非営利活動法人北海道総合福祉研究センター、一般社団法人北海道認知症グループホーム協会、北海道認知症の人を支える家族の会、特定非営利活動法人わーかーびー)

後 援 北海道、札幌市、北海道社会福祉協議会
(予定) 札幌市社会福祉協議会

お問い合わせ・お申し込み先

社会福祉法人 栄和会

〒004-0063 札幌市厚別区厚別町山本750-6
電話:011-896-5010 FAX:011-896-2566
Email: eiwasou@eiwakai.or.jp

ケアする人のケアセミナー

元気の出るケア 希望のあるケア

諸事情により、プログラムの一部を変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

プログラム

● 部分参加歓迎 ●

ご都合にあわせてご参加ください

10:00～

受付【かでのホール前】

10:20～10:30

開会あいさつ

10:30～11:15

講演

生きる力と生かされるいのち

～自然農から生命のあり方を考える

中井 弘和 (社会福祉法人静岡いのちの電話理事長、清沢塾主宰)

高度サービス社会に生きる私たちは、ともすれば自律的に生きる力を見失いがちです。自分のいのちは自分だけのものではないという、関係性の中で生かされている感覚を、どうすれば思い起こすことができるでしょうか。自然農の実践を通して人と人、人と自然、人と社会のいのちのつながりを見つめ、自他の存在を慈しむ生命のあり方考えます。

11:15～11:25

休憩

11:25～12:10

講演

ケアリング・ソサエティ

～支え合いの地域社会

播磨 靖夫 (財団法人たんぼの家理事長)

人が人を必要とする時代が到来しています。にもかかわらず、私たちの社会において人間関係はますます希薄になっています。互いにケアしケアされることに価値を置く文化も脆弱です。ケアの現場の試行錯誤が「生きやすい社会」につながるために、私たちの小さな営みを紡ぎ合わせる視点を提案します。

12:10～13:00

休憩

お弁当をご注文いただけます。

ご希望の方はお申し込み時にご注文ください。【税込 600 円】

12:20～12:50

ランチタイムコンサート

吉川よしひろ (チェロ奏者)

13:00～15:00

選択プログラム

右の5つの会場に分かれて行います。会場は当日ご案内いたします。

15:00

閉会

選択
1

映画『ただいま それぞれの居場所』

画一的な介護制度に疑問を抱く有志が、それぞれ理想の介護を実現させるための施設や事業所を立ち上げた姿を追うドキュメンタリー。設立23年の老舗の福祉施設や、2000年の介護保険制度施行以降に作られた新施設を訪ね、被介護者と家族のように接しようと奮闘する施設スタッフたちを映し出します。(大宮浩一監督作品、2010年、安岡フィルムズ配給)

アフター
トーク

池田ひろみ (北海道総合福祉研究センター事務局長)

宮崎 直人 (北海道認知症グループホーム協会会長)

田辺 毅彦 (北星学園大学教授)

トークセッション

選択
2

家族が家族であるために

～社会サービスと在宅ケアのこれから

西村 敏子 (北海道認知症の人を支える家族の会事務局長)

内舘 桂 (花巻市長寿福祉課)

松坂 優 (特定非営利活動法人わーかーびいー理事長)

コーディネータ 笹谷 春美 (北海道教育大学教授)

ケアのニーズの多様化に応え、より個別的で質の高いケアを実現するうえでも、在宅ケア、地域ケアの割合はますます高くなってゆきます。高齢になっても障がいがあっても、家族が家族であり続けることは、セルフケアを支える大きな力です。そのために、ケアをめぐる家族と地域、社会サービスのこれからの関係をあらためて語り合います。

トークセッション

選択
3

ケアの幸福を求めて～ケアする人のメンタルケア

山村 弘美 (日本産業カウンセラー協会北海道支局 産業カウンセラー)

斉藤 悦子 (特別養護老人ホームはっさむはる施設長)

コーディネータ 瀬戸 雅嗣 (社会福祉法人栄和会事務局長)

相手の気持ちに共感する、生きる意志に寄り添う。そんな目に見えないケアの行為によって、ケアする人もまたさまざまにゆらぎます。ケアする人がストレスと折り合い、自他のつながりを取り戻すためのヒントについて考えます。

体験プログラム

選択
4

タクティールケアを体験しよう【定員30人】

鈴木 卓也 (日本スウェーデン福祉研究所認定インストラクター)

石川 秀也 (北海道医療大学教授)

認知症患者に対する緩和ケアのひとつとしてスウェーデンの医療の現場で用いられている「タクティールケア」を体験します。ケアの原点は、人と人とが直接触れあうこと。互いの身体のこわばりに手を添えることから、他者とのコミュニケーションを見直してみましよう。

体験プログラム

選択
5

土に触れながら思いを巡らせてみよう【定員30人】

小林 牧牛 (陶人形作家)

井出 訓 (北海道医療大学教授)

『なんとかなるさ あきらめず』。サラリーマンから一転、「命がけの仕事」として作家人生を選んだ小林さん。愛らしく飄々とした作品は多くの人に愛されています。ここでは、小林さんと一緒に土に触れながら、他者に心を贈るというケアの仕事(営み)の意味について共に思いを巡らせてみましょう。